

家庭学習のメニュー例

バッチリ基本メニュー例



- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ○今日の授業の復習 | ○辞書での意味調べ |
| ○明日の授業の予習 | ○漢字の書き順・つくり・語源 |
| ○教科書の視写 | ○漢字の熟語づくり |
| ○テストで間違えた問題の再チャレンジ | ○既習漢字を使った短作文 |
| ○テストの予習 | ○音読 |
| ○授業でやった問題、宿題プリントをもう一度解く | ○社会科教科書の内容まとめ |
| ○計算練習 | ○算数科教科書「ほじゅう問題」 |
| | ○自分で選んだ寺子屋プリント |
| | ○アルファベットの練習 |

わくわく挑戦メニュー例



- | | |
|---------------|---------------------------|
| ○読書 | ○お手伝いと感想 |
| ○新聞を読む | ○リコーダーや鍵盤ハーモニカ練習 |
| ○日記 | ○音楽を聴いた感想 |
| ○俳句作り（五七五） | ○植物や自然観察 |
| ○行事のふりかえり | ○四字熟語、ことわざ調べ |
| ○おすすめの本紹介 | ○タブレット（ミライド・タビタ・ミム）を使った学習 |
| ○身近な不思議探し | ○お料理調べと調理 |
| ○国旗調べ | ○図鑑調べ |
| ○新聞の切り抜きにコメント | |



☆バッチリ基本メニューとわくわく挑戦メニューにバランスよく取り組みましょう。

家庭学習の手引き



1. 学校で学習したことを定着させる
2. 学習習慣を身につける
3. 根気や集中力を身につける
4. 自分から学習できる力を身につける

家庭学習はなぜ必要なのでしょうか？本校では家庭学習の意義や目的について次のように確認しています。学校でも児童に指導しています。

低学年から中学年、中学年から高学年へと児童が成長するにつれ、家庭学習の内容が宿題から児童の興味・関心に基づく探究的な自主学習へ移行していくことが理想です。

この冊子を活用して、児童の家庭学習が充実することを期待します。

学習の習慣化

毎日少しずつでも続けることが大きな力になります。続けることで、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。

継続は力なり！

学ぼうとする意欲

学校での「できた」「楽しかった」という思いや「ここがわからなかった」「難しかった」という思いが、家庭学習を通して次の学びやさらなる探究心への意欲につながります。学習する姿を褒められることも大きな励みとなります。

学習内容の定着

「計算・漢字・音読」練習などは、繰り返し行うことが大切です。その日のうちに復習することや、毎日少しずつでも学習を積み上げていくことが効率的で、学力の定着につながります。

家庭を学びの環境に

～子どもが集中して家庭学習に取り組むために～

生活にリズムを

- 「早寝・早起き・朝ご飯」・「十分な睡眠」
- 家庭用ゲーム機、アプリのゲーム等の使用時間短縮
- 家庭での約束事やルールの徹底

学ぶ雰囲気

- テレビ等を消して学習に集中
- 身の回りの整理整頓



子どもとの対話を

- 子どもが学習していることに興味をもち、励ましてください。
- がんばりを認め、褒めてください。
- 子どもが質問してきたら、わかる範囲で教えてあげてください。
- 学校での出来事を子どもと話して、次につながる言葉かけをしてください。

この時間は集中して取り組もう！

10分 × 学年

家庭学習の進め方

1年生 10分×1=10分
◇学校に慣れてきたら始めます。
学習内容 → 学校からの宿題

2年生 10分×2=20分
◇基本的な学習習慣をきちんと身につけます。
学習内容 → 学校からの宿題

22

3年生 10分×3=30分

4年生 10分×4=40分

◇自ら机に向かう姿勢を育てます。

学習内容 → 学校からの宿題 + 家庭での学習

☆中学年から家庭での自主的な学習に挑戦できるとよいです。

5年生 10分×5=50分

6年生 10分×6=60分

◇自ら計画を立てて自力で学習を進めます。

学習内容 → 学校からの宿題 + 家庭での学習

☆高学年は家庭での自主的な学習を効果的に進められるとよいです。



算数科の「寺子屋プリント」は、系統立てて基礎的な力が身につくように作成されています。自分の力に応じたプリントを使って復習することができます。ご家庭で活用するために保護者の方が取りに来ていただいても大丈夫です。また、読解力を支えるために、読書にも力を入れています。

